

第5学年 「ゆらゆらモビール」(工作に表す) 学習指導案

1 授業構成

目標と表現内容

本題材は、板を切り抜いて部品をつくり、形や動きの面白いモビールをつくることをねらいとしている。

目標

- 試しや確かめを通して、作業手順や材料の有効な使い方、部品の配置などを考えることができる。
- 電動糸のこぎりを正しく使い、思い通りの線で板を切り抜いて部品をつくることができる。
- 参考作品や友達の作品を見て、面白さやよさ、がんばりに気付く。

表現内容

- 何を：ゆらゆらゆれるモビールを
- 何で：【主材料】木の板・各種糸・絵の具・ニスで

【造形要素】

- ・ 部品の形の面白さ ・ 表裏のある部品
- ・ 色の組み合わせや模様的美しさ ・ ゆれる動きの面白さ ・ 高さや奥行きなど、配置の面白さ ・ 効果的な展示方法
- どのようにして：
 - ・ 簡単な材料で試したり確かめたりして
 - ・ 大きさ・形・配置を考えた下絵を描いて
 - ・ 電動糸のこぎりや絵の具を使って
 - ・ きりで穴を開け糸をむすんで
 - ・ 自分の作品のよさに合わせた展示の仕方

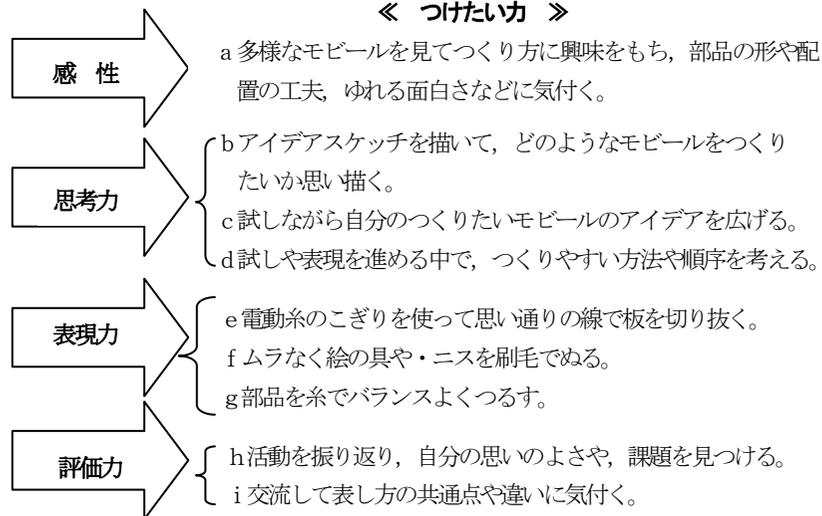
子どもの実態と本題材でつきたい力

本学年の子どもたちの「わくわくフレーム」(造形遊び)で見せた以下の実態から、本題材でつきたい力を次のように考えた。

《 子どもの実態 》

- ・ 参考作品をみて、自分ならどんな風景をどんなフレームに入れたいかという思いをもって楽しんでつくることができた。
- ・ 自分の入れたい風景にどのような材料や加工の仕方が適しているか考えて選ぶことができた。
- ・ 材料に適した接着や組み立ての方法を選び、丈夫な作品をつくることができていた。
- ・ 自分や友達の作品を見てよいところを具体的に見つけ、お互いに認め合うことができた。

《 つきたい力 》



4つの力を働かせ、認知する活動や手だて

本題材の指導にあたっては、子どもが上記の力を働かせ認知することができるように、教えることを下記のように明確にし、以下の活動を設定する。また事前に「見取りたい子どもの姿」を設定し、見取り表を用いながら共感的な価値付けを行っていく。

◆教えること	◎探求活動	◎交流活動	◎振り返り活動	共感的価値付け
<ul style="list-style-type: none"> ・ 主材料と用具の紹介 ・ 学習計画の提示 ・ 板の無駄のない部品の配置 ・ 電動糸のこぎりの使い方 (操作・複雑な線を切るコツ) ・ 木の板への着色の方法 ・ ニスのぬり方・きりの使い方 ・ 糸の結び方 ・ 振り返りの視点 	<ul style="list-style-type: none"> a 多様な参考作品・写真資料の提示 b 気付きを出し合う話し合い活動 b アイデアスケッチ cd 試しの活動 e 造形タイムでの電動糸のこぎり体験 abdcfg 資料の提示 	<ul style="list-style-type: none"> i 気付きを出し合う話し合い活動 i グループで見合える机配置 i 協力して活動することの示唆 i 展示の仕方を工夫した鑑賞会 i 友達のいいところを伝える鑑賞カード 	<ul style="list-style-type: none"> h 4つの力の自己評価 h 写真による活動の振り返り h 自分の作品や活動のよさを振り返って伝える出品カード 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見取りたい子どもの姿の設定 ・ 見取り表の作成 ・ 言葉掛け ・ コメント書き ・ 聞き取り ・ まとめの価値付け

2 指導計画（13時間）

◆教えること ㊦探求活動 ㊧交流活動 ㊨振り返り活動

配時	発想・構想 ①②	構想 ③④（本時4/13）	表現1 ⑤⑥⑦⑧
主話 な動	1 参考作品や写真資料を見て、つくりたい「ゆらゆらモバイル」を発想し、アイデアスケッチに表す。	2 アイデアスケッチをもとに白表紙などの加工が簡単な材料を用いて試しや確かめをし、自分のよいところや新たに工夫したいことを見つける。	3 試しや確かめを生かして下絵を描き、線に沿って電動糸のこぎりて板を切り抜く。
見 取子 りど たも いの 姿 の 例	<ul style="list-style-type: none"> 参考作品をあらゆる角度から見て構造や色使いの面白さに目を向けたり、つくり方を調べようとしたりする。 バランスのととり方や糸の結び方に注目する。 部品や構造に合う糸が用いられていることに気付く。 言葉や図で面白いと思ったアイデアを書きとめる。 どんなものが見つたりゆらしたりするのに適しているか思いつく。 つくるときの事も考えてアイデアスケッチをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 始めの交流で、試したいことや確かめたいことを広げる。 板と同じ大きさの白表紙をむだにしないように意識して作業を進めている。 つくる手順を考えながら作業を進めている。ゆれたときの感じに合う色の組み合わせを考える。 全体のバランスを考えて、つるす位置、糸の長さなどを工夫する。 自分の計画のよさや新たに工夫したいことを見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> 試しや確かめで気付いたことを取り入れながら、糸のこぎりて切り抜くことを考えた下絵を描く。 板をむだなく使えるように、部品の大きさや配置を考えて下絵を描く。 どこから切れば線に沿って切りやすいか考える。 電動糸のこぎりを正しく使い、思い通りの線で板を切り抜いて部品をつくる。
かせる を認 働立 かす	<p>◆主材料、使用する主な用具の紹介（実物提示）</p> <p>◆学習計画</p> <p>㊦参考作品・写真資料 ㊧全体交流㊨面白さ・アイデアの書きとめ ㊩アイデアスケッチ ㊪振り返りノート</p>	<p>◆試しの活動に用いる材料と加工方法（実物提示と演示）</p> <p>◆試しの作品の有効な利用の仕方（演示）</p> <p>㊦机の配置 ㊧始めの交流 ㊨試しの活動</p> <p>㊩㊪振り返りの交流 ㊫振り返りノート</p>	<p>◆糸のこぎりの使い方（資料・演示）</p> <p>㊦参考作品の下絵の提示 ㊧電動糸のこぎりの体験（造形タイム）</p> <p>㊨グループづくり（電動糸のこぎり） ㊩振り返りノート</p>
	<p>(1) いろいろな構造の参考作品や写真資料を見たり、構造を調べたりして気付いたことを友達と交流する。</p> <p>○部品がゆれる構造の面白さを知り意欲をもつこと（感・思）</p> <p>○参考作品のどこが面白いかを発見すること（感・思）</p> <p>(2) 面白い構造やアイデアを書きとめ、交流する。</p> <p>○どんなものをモバイルにしたら楽しいか、自分でいろいろ思いつくこと（思）</p> <p>○自分のつくりたいもののイメージをもつこと（思・表）</p> <p>(3) 活動を振り返り次時の見通しをもつ。</p> <p>○活動の楽しさに気付き、学習計画を立てること（感・思）</p> <p>(4) アイデアスケッチを描く。</p> <p>○つくりたいモバイルを考え、思いついたことをたくさん入れて描くこと（思・表）</p> <p>(5) 活動を振り返り、振り返りノートを書く。</p> <p>○自分の活動のよさや次時に試したいことが分かること（評）</p>	<p>(1) 自分のアイデアスケッチについて、試したいことや確かめたいことを交流する。</p> <p>○何を試したり確かめたりしたいかはっきりさせること（思）</p> <p>(2) アイデアスケッチをもとに加工が簡単な材料と用具で試しや確かめをする。</p> <p>○試しや確かめをして自分のアイデアのよさやもっと工夫したいところが分かること（表）</p> <p>○試しや確かめをすることによって、学習の見通しをはっきりもつこと（思）</p> <p>(3) 活動を振り返り交流して、振り返りノートを書く。</p> <p>○試しや確かめをして分かったことを共有すること（思・評）</p> <p>○自分の活動のよさや、新たに工夫したいことが分かること（評）</p>	<p>(1) 参考作品の下絵を見て、気付いたことを交流する。</p> <p>○板をむだにしない配置について考えること（思）</p> <p>○切り抜きやすい形にすることのよさに気付くこと（思）</p> <p>(2) 下絵を描き、板に写す。</p> <p>○試しの作品を利用して、板をむだにしない配置を考え、切り抜きやすい形になるように下絵を描くこと（思・表）</p> <p>○カーボン紙がずれないように写すこと（表）</p> <p>(3) 振り返りノートを書き、自分の活動を振り返る。</p> <p>○自分や友達の活動のよさに気付くこと（評）</p> <p>(4) 電動糸のこぎりて、板を切り抜いて部品をつくる。</p> <p>○どこから切ればやりやすいか考えること（思）</p> <p>○電動糸のこぎりを正しく使い、思い通りの線で、板を切り抜くこと（表）</p> <p>(5) 振り返りノートを書き、自分の活動を振り返る。</p> <p>○自分や友達の活動のよさに気付くこと（評）</p>

配時	表現2 ⑨⑩⑪⑫(本時11/13)	鑑賞 ⑬
主 な 動	3 切り抜いた部品に絵の具で色をつけ、ニスをぬり、バランスを考えて糸でつるす。	2 できあがった「ゆらゆらモビール」の鑑賞会をする。
見 取 り ど た も い の 姿 の 例	<ul style="list-style-type: none"> ・乾燥時間を考えた手順で部品に着色する。 ・明るい色から着色する。 ・絵の具の濃さや筆の動かし方に気をつけて色をつける。 ・乾燥時間を考えながら、ムラなくニスをぬる。 ・バランスを考えながら、どこにどれぐらいの糸の長さで部品をつるすか考える。 ・つくりたいモビールに合う糸の種類を選んだり、糸の結び方を工夫したりして部品をつるす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の作品の題名を工夫する。 ・自分の作品の形や色、構造についてよいところを出品カードに書く。 ・自分の作品にあった場所を選んで展示する。 ・友達作品の形や色、構造についてよいところをたくさん見つけ、鑑賞カードに書く。 ・友達が書いてくれた鑑賞カードを読んで、自分では気付かなかった作品のよさに気付く。
か せ る を 認 手 働 か す	<ul style="list-style-type: none"> ◆木の板への着色の仕方(資料) ◆ニスの塗り方(資料) ◆糸の結び方(演示) ◆きりの使い方 ㊦部品のつるし方の資料 ㊧参考作品の提示 ㊨全体交流 	<ul style="list-style-type: none"> ◆鑑賞の視点(作品の形、色、構造) ㊩鑑賞カード ㊪鑑賞会 ㊫出品カード ㊬写真による振り返り
学 習 活 動 と 内 容 (O)	<p>(1) 木の板への着色の仕方を知る。 ○絵の具の濃度や筆の動かし方が紙への彩色とは異なること (思)</p> <p>○自分の部品をどの順序で彩色していくか考えること。(思)</p> <p>(2) 切り抜いた部品に着色する。 ○つくりたいモビールに近づくように工夫して彩色すること (表)</p> <p>○絵の具の濃度や筆の動かし方に注意して着色すること (表)</p> <p>(3) ニスをぬる。 ○ニスの量や刷毛の動かし方に注意してニスをぬること (表)</p> <p>※乾燥の待ち時間や造形タイムを使いきりで部品に穴を開ける。</p> <p>(4) 参考作品や試しを見直して活動の見直しをもつ。 ○糸の結び方やバランスの取れる糸の長さを考えること (思)</p> <p>(5) バランスを調整しながら部品をつるす。 ○糸の長さや位置を考えて糸を部品に結び付けること (表)</p> <p>(6) 振り返りノートを書き、活動を振り返る。 ○自分や友達の活動のよさに気付くこと (評)</p>	<p>(1) 出品カードを書く。 ○自分の作品のよさに気付くこと (評)</p> <p>(2) 作品を展示する。 ○自分の作品のテーマや色使い、構造に合う展示場所を選ぶこと (思・表)</p> <p>(3) 友達の作品を鑑賞し、鑑賞カードを書く。 ○友達の作品のよさに気付くこと (感)</p> <p>(4) 鑑賞カードを交換して交流する。 ○自分や友達の作品のよさや感じ取ったこと、活動のよさを伝え合うこと (感・評)</p>

4 / 13時間

3 本時目標

- アイデアスケッチをもとにした試しや確かめの活動を通して、部品の大さや配置、作業手順や材料の有効な使い方などを考えることができる。
- 試しや確かめをしながら、自分の活動のよさや新たに工夫したいことを見つけることができる。

4 授業仮説

- 以下の活動を設定し共感的な価値付けを行えば、思いに合ったモビールがつくれるように試しや確かめをすることができるであろう。
- ㊤ 友達の活動から学び合える机の配置
 - ㊦ 試しや確かめの視点をはっきりさせるための始めの交流
 - ㊧ 作業手順や材料の有効な使い方、部品の配置などを考える試しの活動
 - ㊨ 参考作品・資料コーナー
試しの作品をつるす場の設置

5 準備

- 子ども…はさみ・セロハンテープ・アイデアスケッチ・振り返りノート
教師…八つ切白表紙・ひも・参考作品資料(土台の形・糸の長さ・下絵)・学習計画掲示

6 展開

主な学習活動と内容 (○)	力を働かせ認知する活動と手立て及び教えること (◆)	見取りたい子どもの姿の例
<p>1 前時を想起して本時のめあてを確かめる。</p> <p>○前時に引き続き思いに合ったモビールをつくれるか試したり確かめたりする意欲をもつこと (思)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">厚紙を使った試しの活動をして、自分の思いに合ったモビールができるか確かめよう。</div>	<p>㊤ 前時とつなぎ子どもの発言からめあてを提示する。</p>	
<p>2 前時の活動で気付いたことを全体で交流する。</p> <p>○前時にどんなことを試し、どんな工夫をしたか伝え合うこと (思)</p> <p>○友達の発言から自分では気付かなかったことにも気付くこと (思)</p>	<p>㊦ 前時までの試しの作品や資料を見せながら、工夫したことや本時で試したいことを交流させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部品の大さや配置 ・バランス ・作業手順 ・板の有効な使い方 	<p>・前時の活動を想起して、試したいところをはっきりとさせている。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin: 10px 0;">どの部品をどこにつるせばバランスがとれるのだろうか。</div>
<p>3 アイデアスケッチをもとに加工が簡単な材料で試しや確かめをする。</p> <p>○試したり確かめたりしながら自分のモビールのよさや工夫することに気付くこと (思・表)</p> <p>○試しや確かめをすることによって、活動の見通しをはっきりもつこと (思・表)</p>	<p>◆糸の長さや部品のつるす位置を変えることでバランスが調整できること</p> <p>㊧ 必要に応じて試しの作品をフックにつるし確かめられるような場を準備する。</p> <p>㊨ 部品の大きさや配置、糸の長さやバランスを考えるために参考作品や資料を掲示する。</p>	<p>・板を無駄にしない部品の形、大きさを考えている。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin: 10px 0;">この部品はもっと大きくした方が板を無駄にしないな。</div>
<p>4 活動を振り返り交流して、振り返りノートを書く。</p> <p>○試しや確かめをして分かったことを共有すること (思・評)</p> <p>○自分の活動のよさや、新たに工夫したいことが分かること (評)</p> <p>○次時の見通しをもつこと (思・評)</p> <p>○本時の気づきや学びを確かめること (評)</p>	<p>㊩ 試しや確かめをして分かったことを次時からの活動に生かすように、試しの作品やアイデアスケッチに書き留めるようにする。</p> <p>㊪ 振り返りノートを書くことで、本時の活動を振り返らせる。</p> <p>◆思いに合うモビールをつくるには、部品の大きさや配置などを試しながら工夫するとよいこと</p>	<p>・全体のバランスを考えて、つるす位置、糸の長さなどを工夫している。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin: 10px 0;">向かい合わせに同じ長さでつるすとバランスが取りやすいな。</div> <p>・自分のよいところや新たに工夫したいことを見つけている。</p>

3 本時目標

- 試しの作品を見ながら、部品の配置や糸の長さを考えることができる。
- 部品と土台を糸で丈夫につるすことができる。
- 自分や友達の活動のよさに気付くことができる。

4 授業仮説

以下の活動を設定し共感的な価値付けを行えば、糸の結び方や長さの工夫・部品の配置を考え、思いに合うモビールをつくることができるであろう。

- ③自分の思いに合う糸の結び方や長さを考える資料
- ③バランスを確かめるための、作品をつるす場の設定
- ③参考作品の掲示
- ③④全体交流

5 準備

子ども…試しの作品、板、アイデアスケッチ
 教師…てぐす、たこ糸、麻ひも、クリップ、糸の結び方・長さの資料、参考作品、つるす場の設定、学習計画掲示

6 展開

主な学習活動と内容 (○)	力を働かせ認知する活動と手立て及び教えること (◆)	見取りたい子どもの姿の例
<p>1 前時を想起して、本時のめあてを確かめる。 ○アイデアスケッチ・試しをもとに、思いに合ったモビールをつくれるか、糸の長さ・バランスを考えてつるそうとする意欲をもつこと (思)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 部品のつるし方を工夫して、思いに合ったモビールを仕上げよう </div> <p>2 試しを見直したり、参考作品を見たりして、くわしい作業の見通しをもつ。 ○糸の結び方やバランスのとれる糸の長さやつるす位置を考えること (思)</p> <p>3 バランスを調整しながら部品をつるす。 ○糸の長さや位置を考えて、糸を部品に結びつけること (思・表)</p> <p>4 本時の学習を振り返り、気付いたことを交流する。 ○グループで交流し、お互いの工夫のよさを見つけること (評) ○次時の見通しをもつこと (思・評) ○本時の気付きや学びを確かめること (評)</p>	<p>③④本時のめあてをつかむために、前時を想起するよう全体交流を設定する。</p> <p>④子どもの発言からめあてを提示する。 ・糸の長さ ・つるす位置 ・つるし方</p> <p>③自分の思いに合う糸や結び方を選ぶことができるように、資料や参考作品を掲示する。</p> <p>◆糸の丈夫な結び方</p> <p>③バランスを確かめるために作品をつるす場の設定</p> <p>③④本時の学習を振り返ることができるように、グループで互いの作品を見合う時間を設定する。</p> <p>◆思いに合ったモビールをつくるには、糸の長さや結び方を工夫するとよいこと</p>	<p>・資料や参考作品を見ながら、糸の結び方やバランスのとれる糸の長さに気付いている。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>全部同じ長さにするとつりあうね。バラバラの長さもあるよ。</p> </div> <p>・糸の長さや位置を考えて、糸を部品につけている。</p> <p>・糸の結び方をお互い教え合っている。</p> <p>・バランスがとれるように、土台をつり下げた後、部品と糸を結んでいる。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>部品がたくさんあるから、先に土台をつるしてから糸と部品をつなげていくと、バランスがとりやすいね。</p> </div>